

授業教案例

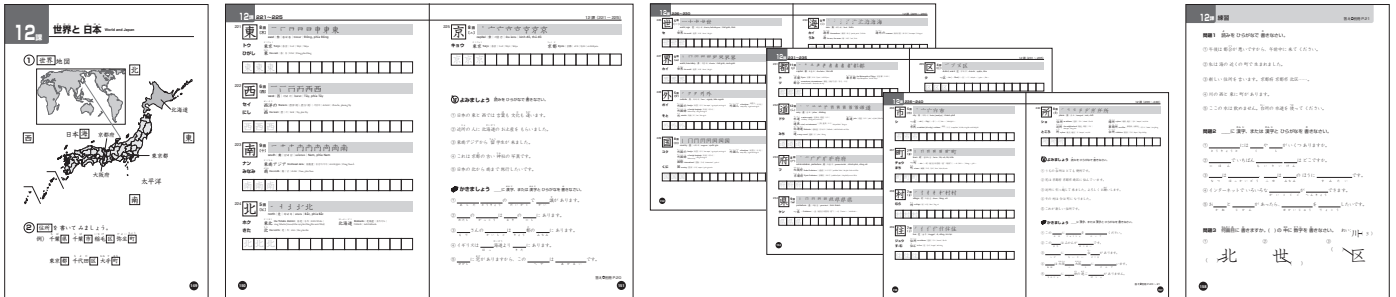
(授業時間 90分)

12課

せかい にほん 世界と日本

導入する漢字 20 字

東、西、南、北、京、世、界、外、国、海、都、道、府、県、区、市、町、村、住、所



① 時間配分

① 小テスト・クイズ

(5～10分)

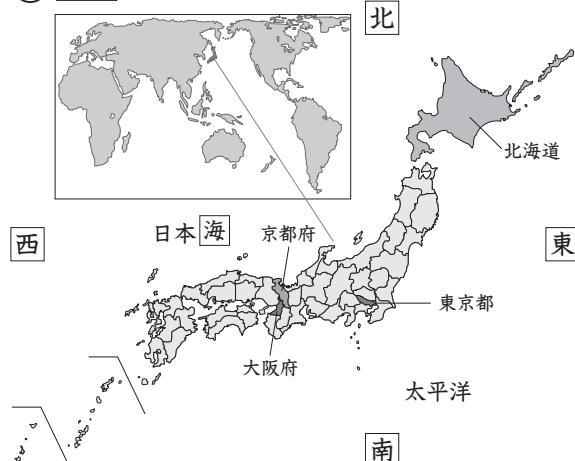
必要に応じて前回の授業の復習の小テストやクイズを実施する。

① 学習内容の提示と レディネスの確認

(10分)

- この授業では、「世界と日本」に関する漢字を勉強することを話し、学習内容を提示・確認する。
- 第12課の最初のページ (p.149) の①を見せて、「見たことがある漢字がありますか」「日本の中はいくつに分かれていますか」などの質問をし、学習者の日本の地理に関する知識を確認する。
- 学習者の住まいの住所や、大学や学校の住所が言えるかどうか確認する。

① 世界地図



2 漢字の導入

(60～65分)

- 1 フラッシュカードを提示する、または、コンピューターの画面に映し出す、などの方法により、新出漢字を1字ずつ見せる。

例：

東

 を見せる。

- 2 音読みと訓読みを確認する。

例：音読みが「トウ」、訓読みが「ひがし」であることを確認する。

東
トウ
ひがし

- 3 語彙を読む。この漢字を使ったほかの語彙を知っているかどうか学習者に聞く。

例：「東京」と「東」を読む。地名が出てきたときは地図で位置を確認するとよい。

東京	Tokyo	东京	トウキョウ	Tokyo
東	the east	东	トウ	Dong

- 4 書き順を確認する。実際に書き方を板書する。書くときに「はね」や「はらい」など学習者が難しいところを注意する。マス目の最初の3つには漢字が書いてあるので、必ずこの上をなぞらせ、漢字の形、書き順を確認する。

東	東	東																	
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

教師は正しく書けているかどうかを確認する。

- ①～④を繰り返し、すべての漢字（20字）を導入する。

3 まとめ

(10分)

- 第12課の最初のページ（p.149）の②を見せて、日本の住所の書き方を確認し、学習者にそれぞれの住まい、大学や学校の住所を漢字で書かせる。教師が確認する。

②

住所

 を書いてみましょう。

例) 千葉県

千葉

 市

稲毛

 区

弥生

 町

東京都

千代田

 区

大手

 町

- この授業で習った漢字を提示し、それらの漢字を使って自由に文を作らせる。適切に使用できているかを教師が確認する。
- 次回の授業について指示する。

★

よ

 みましょう /

か

 きましょう / **練習** は授業内に使ってもよいし、宿題にしてもよい。

授業の注意点

- ◎ 漢字1字ずつについて、正確に読み・書きができるように定着を図る。
- ◎ どのような文脈の中でその漢字、その漢字を使用した語彙がどのように使われるのか、学習者が理解し、運用できる能力を養成する。